

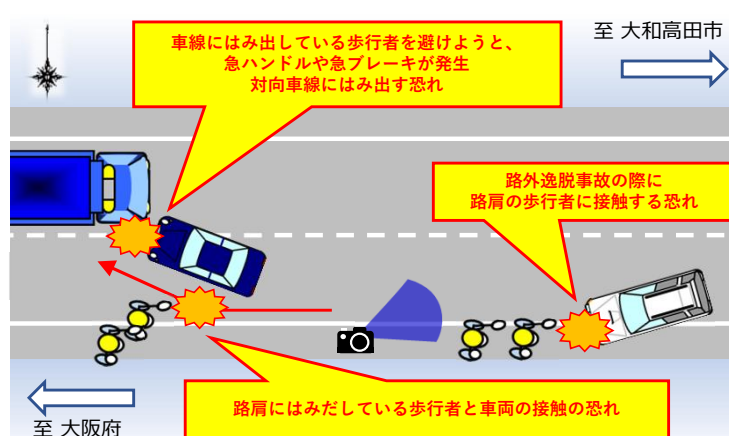
# 通学路の交通安全対策による効果（奈良県香芝市 国道165号）

- 歩道がない通学路において、狭い路肩を児童が歩行し、車道にはみ出した歩行者を避けようと急ブレーキが発生するなど事故の危険性が高い区間が存在
- 千葉県八街市の事故を受けた対策として、令和7年3月に歩道整備が完了し、整備区間において、自動車の**急ブレーキが約2割減少**するなど事故リスクの低減効果を確認

## 【位置図】



## 【対策前の課題】



## 【ETC2.0データによる効果検証】

▼前後加速度（急ブレーキ） ※区間全体



## 【対策前後の状況】

対策 前



対策 後

令和7年3月完成



▼左右加速度（急ハンドル）

変化なし（対策前：0件 → 対策後：0件）

※急挙動データ

- ・前後加速度: 急ブレーキに係る指標（ $-0.3G$ 以上）
- ・左右加速度: 急ハンドルに係る指標（ $\pm 0.3G$ 以上）

※ETC2.0プローブデータ抽出期間

- 【対策前】R3.5.1～R3.5.30 平日（7時～9時、14～18時）
- 【対策後】R7.5.1～R7.5.30 平日（7時～9時、14～18時）

